

農・食品



キーワード：行動変容 動機付け ナッジ 意思決定 継続性 社会貢献

行動変容に導く栄養教育

農学部 食品栄養学科 講師  
**森 美奈子 MORI Minako**

研究の内容

人々がモチベーションをあげてヘルスプロモーションに取り組むための社会環境の仕組みづくりと心理学的アプローチの研究

背景

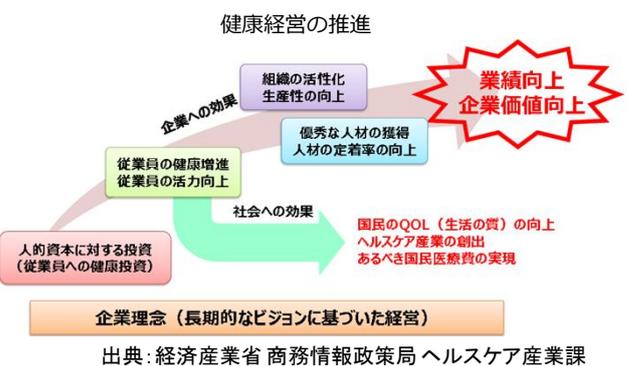
- 少子高齢化社会において、生活習慣病の増加や平均寿命と健康寿命の乖離は、医療費の増大や生産年齢人口の減少の面から公衆衛生上の喫緊の課題です。
- 現行のヘルスプロモーションは動機付けや継続性の面で課題を抱えています。
- 健康経営を推進する企業は、社会貢献活動に取り組みながら勤労者の健康増進を図り、生産性の向上を目指しています。

目的

- 社会貢献活動を活用したヘルスプロモーションの効果の実証をしています。
- 仮想健康教室に参加する人々のヘルスプロモーションの課題解決方法の手法について、意思決定と動機づけ、継続性の因子を検証しています。

主な成果

- 社会貢献活動を活用したヘルスプロモーションの参加者は、継続性や行動面でのプラスの変化の面で効果が有りました。
- 企業の社員食堂を活用したヘルスプロモーションは、ナッジ理論にあてはまることが推察されました。



企業理念（長期的なビジョンに基づいた経営）

出典：経済産業省 商務情報政策局ヘルスケア産業課



産学連携・社会連携へのアピールポイント

【農業生産者・家電産業との連携】

仮想健康教室で地域の農産物や家電を利用し、生産者・メーカーと消費者の新たな消費の場のマッチングにより、農産物・国産家電の地域振興と消費拡大を図ります。

【企業との連携】

CSRの一環としての社会貢献活動と従業員の健康増進の成果をあげるシーズを提供したいと考えています。

研究室名（栄養教育学研究室）

URL : <https://www.setsunan.ac.jp/gakubu-in/nogaku/>

